

open campus

大学で学ぶとは

8月3日(木)・4日(金)

模擬講義 留学生センター内 国際ホール
模擬ゼミ 箱崎理系地区
21世紀交流プラザⅡ 講義室1

高大連携企画

3日(木)

12:00~15:00 模擬ゼミ(入門編)

テーマ 進路という面白い難題

大学生のお手本など見ながら肩慣らし

12:30~13:30 模擬講義

テーマ 観るー自然現象を認知すること

13:45~14:45 模擬講義

テーマ 察するー行為の理由を知ること

4日(金)

12:00~15:00 模擬ゼミ(本格編)

テーマ 高校時代の進路選択・その理由

高校生が主役の知的バトル?

12:30~13:30 模擬講義

テーマ 察するー行為の原因を解ること

13:45~14:45 模擬講義

テーマ 観るー自然現象を理解すること

いずれかに参加して、大学で「学ぶ」とはどういうことかを垣間見てみませんか。

九州大学高等教育開発推進センター

【問い合わせ先】九州大学学務部教育企画課高等教育企画係
☎ 092-726-4525 ✉ gakhkoutou@jimu.kyushu-u.ac.jp

学部・学科では、それぞれの教育・研究を高校生に紹介する企画を実施します。そこでの高校生の皆さんの見聞は、進路選択の重要な手がかりになることと思います。ぜひ、積極的に質問をして、進路選択に、そして、専攻教育を学ぶ準備に役立ててください。

九州大学の全学教育の開発にたずさわっている高等教育開発推進センターでは、学部・学科それぞれの企画を補うことになれば何よりだと考えました。そして、高校生の皆さんに「大学で学ぶとは」どういうことであるかを、体験を通して垣間見てもらえるようにと、講義とゼミを開講することにしました。

■ 模擬講義について

生徒から学生になろうとするときの大きな壁の1つが「観察の仕方がわからない」ことです。小学校から高校まで、観察学習はどの教科にも取り込まれています。しかし、高校までの観察学習の多くは「何々について観察しなさい」とか、「何々がこのようになっていることを観察しなさい」というように、何を観ればいいのか、そして、観たことをどう察すればいいかについて、あらかじめ示された観察です。大学では、「あなたには、何が観えますか」そして「観たことから、あなたは何を察しますか」と尋ねられます。これは、学問や研究において、確かな答えが見出されていない未知の事象に取り組んでいる大学教師が授業に臨む際の基本的な姿勢なのです。

4つの模擬講義の共通テーマは「観察する」です。模擬講義は、観察を「観る」と「察する」の2つの過程に分けてタイトルをつけました。しかし、どこまでが「観る」で、どこからが「察する」になるか、はっきりと境界線が引けるわけではありません。そこで、「観る」過程に重きをおいて自然現象の観察をとりあげる講義と、「察する」過程に重きをおいて人間行為の観察をとりあげる講義とを企画しました。

■ 模擬ゼミについて

九州大学では、18年度から、新入生全員が入学後の最初の学期に少人数ゼミナール(名称はコアセミナー)を履修することになりました。人数の少ない授業で高い成果がもたらされるのは、学生が熱心に“教わる”だけではなく、自ら調べ、発表し、討論し、また考える…という学びの姿勢がそこで芽生えるためだと考えられます。

高校生にとってだけでなく、社会参加が次のステップである大学生にとっても関わりの深い「進路選択」を、模擬ゼミのテーマにしました。まずは、自分の考えを述べてみましょう。そして、その考えに対する反論や異論に、謙虚に耳を傾けてみましょう。すると、一時の混乱を経て、やがて自分の考えに変化が起こり、なにやら成長したような気分さえしてきます。先生や教科書に従って“正しい”ことを覚えるタイプの勉強から、そのような成長はなかなか望めません。大学卒業後の世界にはふつう先生も教科書も無く、そんな環境でもたくましく学んで行けるだけの力をつけなければいけません。ゼミナールは、そのための優れた訓練場の一つです。